

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
 ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp/site/amakusa-1219>
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



韓国で口蹄疫が発生しました

平成31年(2019年)1月26及び29日に京畿道安城(アンソン)市において、同月31日に忠清北道忠州(チョンジュ)市において口蹄疫(O型)が発生しました。3件とも短期間での発生であり、今後も拡大していく可能性が考えられます。

畜産農家を含む畜産関係者におかれましては、口蹄疫の発生予防対策及び万が一の発生時のまん延防止対策に万全を期すために、効果的な消毒の実施、関係のない人を農場に立ち入らせない等、引き続き飼養衛生管理基準の遵守及び早期発見・早期通報の徹底をお願いします。

韓国における口蹄疫の状況(2019年1月以降)



岐阜県（7例目）および愛知県で豚コレラが発生しました

1月29日に岐阜県において豚コレラの7例目の発生及び2月6日に愛知県での豚コレラ発生がありました。野生いのししからもウイルスが検出されています（118頭）。

※岐阜県での発生対応については次頁参照

豚飼養農家を含む畜産関係者の皆様方におかれましては、**野生動物の侵入防止策等改めて飼養衛生管理基準の遵守の徹底**や異常豚の**早期発見・通報**に万全を期していただくようお願いいたします。



豚コレラウイルスに感染した豚の症状（農林水産省HPより）

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
口蹄疫	○型 ※3例目は検査中	韓国（3件）	牛	平成31年1月28日 ～1月31日
	○型	ロシア（4件）	牛、豚	平成31年1月24日 ～1月27日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N2	台湾（6件）	七面鳥、肉用アヒル、地鶏	平成30年12月6日 ～平成31年1月23日
	H5亜型	ロシア（2件）	家きん、七面鳥	平成31年1月4日 ～1月21日
アフリカ豚コレラ		中国（8件）	豚	平成30年12月30日 ～平成31年1月19日
		モンゴル（9件）	豚	平成31年1月9日 ～1月24日

平成31年2月1日時点

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668



岐阜県における豚コレラの発生対応(概要)

発生概要(7農場 10,658頭)		防疫対応状況(予定は最短の場合)				
発生場所	発生日	飼養頭数※ (種別)	農林水産省 対策本部	措置完了日(○日付)	撤出制限区域 解除	移動制限区域 解除
				(殺処分、消毒等)	17日目	28日目
① 豚一貫農場 (岐阜市)	2018年 9月9日	豚 579頭 (繁殖75頭、肥育362頭、子豚142頭)	9月9日	9月9日6時開始 9月11日14時完了	9月29日0時解除	10月10日0時解除
② 畜産センター公園 (岐阜市)	2018年 11月16日	豚 21頭 (子豚21頭)	-	11月16日1時開始 11月16日15時完了	12月4日0時解除	12月15日0時解除
③ 畜産研究所 (美濃加茂市)	2018年 12月5日	豚 503頭 (繁殖184頭、肥育102頭、子豚217頭)	12月5日	12月5日5時30分開始 12月7日15時32分完了	12月25日0時解除	1月5日0時解除
④ いのしし飼養施設 (関市)	2018年 12月10日	22頭 (いのしし22頭)	-	12月10日11時30分開始 12月11日15時56分完了	12月29日0時解除	1月9日0時解除
⑤ 農業大学校 (可児市)	2018年 12月15日	10頭 (繁殖3頭、肥育7頭)	-	12月15日20時30分開始 12月16日15時35分完了	1月3日0時解除	1月14日0時解除
⑥ 豚一貫農場 (関市)	2018年 12月25日	7,861頭 (繁殖751頭、肥育2,410頭、子豚4,700頭)	-	12月25日7時30分開始 12月28日8時10分完了	1月16日0時解除	1月26日0時解除
⑦ 豚一貫農場 (各務原市) と畜場(⑦) (岐阜市) 豚肥育農場(①) (本巣市)	2019年 1月29日	1,662頭* (繁殖127頭、子豚1,535頭)		1月29日9時開始 1月31日7時完了	2月18日0時 解除予定	3月1日0時 解除予定
	(関連と畜場)	(係留頭数)149頭*		1月29日4時45分開始 1月31日7時完了	-	-
	(関連農場)	867頭* (肥育豚867頭) *岐阜県で精査中		1月30日13時20分開始 2月1日6時50分完了	-	-

※飼養頭数は患者確定時の頭数



平成31年2月1日現在

(農林水産省HPより)

牛の異常産をワクチンで予防しましょう

流産、早産、死産、体形異常など「牛の異常産」は、細菌、ウイルス、栄養障害など様々な原因があります。中でも、蚊やヌカカが媒介する**アカバネ病**、**チュウザン病**、**アイノウイルス感染症**による異常産は、時に大規模な発生となり、経済的な損失が大きい疾病です。これらの疾病は、全国で散発しています。

また、昨年9月以降では、佐賀県、長崎県及び鹿児島県において、異常産をひき起こすディアギュラウイルスの動きが確認されており、熊本県においても本ウイルスによる異常産の発生が危惧されます。

異常産等家畜の異常が確認された場合は早期通報をよろしくお願いします。

疾病名	アカバネ病	チュウザン病	アイノウイルス感染症
発生時期	夏～翌年春	秋～翌年春	夏～翌年春
臨床症状			
	水無脳症（大脳欠損や小脳欠損）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状 ※ピートンウイルス感染症も同様の症状	<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱、盲目、起立不能 ・体形異常はない ※ディアギュラウイルス感染症も同様の症状	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状
ワクチン	牛異常産3種※又は4種混合不活化ワクチン (※アカバネ病、※チュウザン病、※アイノウイルス感染症、ピートンウイルス感染症)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛に4週間隔で2回、筋肉内に接種する。 ・前年に接種経験のある牛は、1回、筋肉内に接種する。 ・ウイルスを媒介する吸血昆虫（蚊やヌカカ）が活発化する前に接種する。 		

これら3つの疾病に加え、**イバラキ病**及び**牛流行熱**も異常産をひき起こします。ワクチンが有効ですので、**確実なワクチン接種**を行い、予防しましょう！！